

がん征圧・患者支援チャリティイベント

RELAY FOR LIFE JAPAN 2023 KOBE

6月10日(土)～11日(日)

みなとのもり公園



響け神戸に！ がん患者支援の声と足音
夜通し歩く！ 走る！
演奏のバトンをつなぐ！

参加者
募集中
ボランティア
募集中！



<https://relayforlife.jp/kobe/>
お問合せ : info@rfl-kobe.org

昼

★★★★★★ 日没以降翌朝まで 約1000個 (紙灯笼+竹灯笼) のキャンドルルミナリエが灯り続けます ★★★★★★

だれも座っていないイスがあります
あなたはここにだれの姿を見るのでしょうか
私たちは一人ではありません
あの人の思いとともに
朝を迎えるまで
ともに歩いていきましょう

夜



- 主催：リレー・フォー・ライフ・ジャパン神戸実行委員会 / 日本対がん協会
 - 共催：ひょうごがん患者連絡会
 - 後援：厚生労働省/ 兵庫県/ 神戸市/ 兵庫県医師会/ 神戸市医師会/ 兵庫県健康財団/ 兵庫県赤十字血液センター/ 兵庫県看護協会/ 神戸市社会福祉協議会/ 神戸観光局/ コープこうべ/ NHK 神戸放送局/ 神戸新聞社/ サンテレビジョン/ ラジオ関西
 - 協賛：神戸信用金庫
- (いずれも予定)

RELAY FOR LIFE JAPAN 2023 KOBE

2023年6月10日(土) 14時 - 11日(日) 9時 みなとのもり公園

会場よりオンラインで動画配信

ボランティア大募集

学生・一般

リレー・フォー・ライフとは、がん制圧を目指し、がん患者（サバイバー）やそのご家族達を、励まし支援するイベントで、1995年にアメリカで始まり、世界に広まっている運動です。日本では2007年に始まり、全国約60カ所で行われています。私達と共に、このイベントを盛り上げ、あなた自身もボランティアを楽しんでみませんか？



♪お仕事リスト♪ 作業内容	時間帯①	時間帯②	時間帯③	時間帯④
	9-15時	15-21時	21-翌8時	翌8-12時
a: 会場設営・撤収、小テント組立、机・イス配置等				
b: 受付、ルミナリエ袋記入、フラッグ手型押し			←7時	
c: ルミナリエ（紙灯籠）の設置・点灯・かたづけ				
d: ステージのセッティング・オンライン配信				
e: ビデオ、写真の記録・編集				

*注 設営・撤収：作業内容「b~e」の時間帯①、時間帯④の一部には、会場設営・撤収作業が含まれます

ボランティア説明会（オンライン）：5月27日（土）13:30から（詳細は、締切後、申込者に通知）



ボランティア申込

<https://ws.formzu.net/dist/S31430107/>



詳細はこちらから

*お問い合わせ
info@rfl-kobe.org

<ボランティア募集責任団体>

リレー・フォー・ライフ・神戸実行委員会
実行委員長：相川尚子

RFLの起源	使命：Save Lives	寄付金：日本対がん協会を通じて下記の活動に使われます		
<p>1985</p>  <p>1985年、アメリカ・ワシントン州シアトル郊外において、「がん患者は24時間病氣と向き合っている」この思いを共有し、がん患者を支援しようと、一人の医師が24時間走り続け、トラックを1周するたびに友人から寄付を募り2万7千ドルを集めることができました。これが「リレー・フォー・ライフ」の始まりです。彼の名はゴルディー・クラット。マラソンが得意な腫瘍外科医でした。日本では2007年に初めて開催され、今や全国約50カ所で開催されるようになりました。「リレー・フォー・ライフ・ジャパン神戸」は2014年から始まり今年で7回目を迎えます。</p>	<p>3つのテーマ</p> <p>Celebrate：祝う</p> <p>がんの告知を乗り越え、今を生きるサバイバーや家族などの支援者を讃え、祝福します。</p> <p>Remember：偲ぶ</p> <p>がんで亡くした愛する人を偲び、追悼を行います。また病の痛みや悲しみと向き合っている人達を敬います。</p> <p>Fight Back：立ち向かう</p> <p>がんの予防や検診を啓発し、がん制圧のための寄付を募り、がんて苦しむ人、悲しむ人をなくす社会を作ります</p>	<p>1・がんの悩み相談 全国で医師、看護師などによる面談と電話相談をお受けしています。</p> 	<p>2・プロジェクト未来 がんの新しい治療法や新薬発の研究費の助成を行っています。</p> 	
			<p>3・若手医師育成支援 意欲ある若手医師の、国内外における研修費用の一部を助成しています。</p> 	<p>4・がん検診受診率アップ 検診の大切さを啓発し、有効ながん検診の受診率の向上を目指しています。</p> 